

評価規準（令和２年度）【音楽】３学年

内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1.音楽で心をつなげよう ○友だち (そだてよう)リズムでなかよくなろう ・校歌	【知①】旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりに気付き、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	【思・判・表①】歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら、前半と後半の曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】友達と協働して、声を合わせて歌ったりリズムを合わせて手拍子を打ったりする学習に進んで取り組もうとしている。
2.歌って音の高さを感じとろう ○◇ドレミで歌おう (共)春の小川 ◇海風きって ☆せんりつづくり (共)茶つみ	【知①】ハ長調の楽譜を見て表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知②】旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりに気付き、ハ長調の楽譜を見て、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】旋律の音のつなげ方の特徴に気付き、提示された音に基づいて、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。	【思・判・表①】曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりに気付いたことを生かしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】旋律や音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、音の重ね方を工夫し、どのように声や音を合わせて表現するかについて思いや意図をもっている。	【態①】旋律の特徴に気付いたり、ハ長調の楽譜を見て演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。
3.リコーダーのひびきを感じとろう ♪ビタゴラスイッチ ♪小鳥のために ◇練習１・２・３・４(シ) ◇練習１(シ・ラ)／ 練習２(シ・ラ・ソ)／ きれいな ソラシ ◇坂 道／雨上がり／アチャ パチャ ノチャ	【知①】リコーダーの音色と曲想との関わりに気付いている。 【知②】リコーダーの音色や響きとタンギングや息の強さなど、演奏の仕方との関わりに気付き、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知③】音色やリズム、旋律と曲想との関わりに気付き、タンギングや息の強さなど、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。	【思・判・表①】リコーダーの音色や旋律の変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】リコーダーの音色や旋律の特徴、リズムと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	【態①】リコーダーの音色に興味・関心をもち、息の強さや運指に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。

4. 拍にのってリズムをかんじとろう ◇○ゆかいな木きん ☆手拍子でリズム (共) うさぎ ※「うさぎ」は、学習内容や季節を考慮し、題材から独立しています。	【知・技①】拍子やリズム、旋律と曲想との関わりに気付いている。 【知・技②】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴いて、友達と音を合わせて演奏している。 【知・技③】リズムのつなげ方の特徴に気付き、反復や変化を生かしてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。	【思・判・表①】拍子やリズム、旋律と曲想との関わりに気付いたことを生かして、旋律の特徴を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。 【思・判・表②】リズムの反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、4分音符と8分音符のリズムの組み合わせを工夫し、反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムをつくることに思いや意図をもっている。	【態①】拍子やリズム、旋律と曲想との関わりに興味・関心をもち、互いの音を聴き合って演奏する学習に進んで取り組もうとしている。
5. せんりつのとくちょうをかんじとろう ○とどけよう このゆめを ○◇あの雲のように (共) ふじ山	【知・技①】旋律の特徴や拍と曲想との関わりに気付いている。 【知・技②】音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴と曲想との関わりに気付きながら、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知・技③】音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりに気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。	【思・判・表①】旋律の特徴や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌声や楽器の音の重ね方などを工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】旋律の特徴や拍子と曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③】旋律の特徴や歌詞の内容、強弱の変化などと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】音の上がり下がりなどの旋律の特徴と曲想との関わりに興味・関心をもち、重なり合う音色の響きに気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態②】旋律の特徴や拍子と曲想との関わりが生み出すよさや面白さへの興味・関心をもち、それらの特徴を生かした歌い方の学習に進んで取り組もうとしている。 【態③】曲の山を生かして、歌詞の内容や旋律の特徴が生み出す曲想にふさわしい表現を工夫する学習に進んで取り組み、旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて興味・関心を深めようとしている。
6. 曲のかんじを生かそう ♪メヌエット ◇山のボルカ／練習(ソ・ファ・ミ) ○帰り道	【知・技①】曲想やその変化と、音色やリズム、旋律、歌詞の内容などとの関わりについて気付いている。 【知・技②】リコーダーの音色や響きとタンギングや息の流れなど、演奏の仕方との関わりに気付き、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技③】曲想と旋律の反復や変化との関わりに気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	【思・判・表①】音色やリズム、旋律などと曲想との関わりについて考え、体を動かすなどして曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】音色やリズム、旋律などと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③】旋律の反復や変化、音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】楽器の音色や旋律の反復や変化が生み出す曲のよさを感じ取りながら、聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【態②】曲想と楽器の音色やリズム、旋律との関わりが生み出す曲や演奏のよさなどを感じ取りながら、曲想に合った表現を工夫して演奏する学習に進んで取り組もうとしている。

7. いろいろな音のひびきをかんじとろう ♪トランペットふきの休日／アレグロ ◇パフ ○おかしのすきな まほう使い ☆まほうの音楽	【知・技①】楽器の音色の違いや旋律の特徴、反復と曲想との関わり気付いている。 【知・技②】音色や旋律の特徴などと曲想との関わり気付く、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏する。 【知・技③】音色や音の重なり、旋律の特徴などと曲想との関わり気付く、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技④】思いや意図に合った表現をするために必要な、音の重ね方や反復、変化などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて「まほうの音楽」をつくる。	【思・判・表①】音色や旋律の特徴、音の重なり、拍と曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、演奏の仕方や音量バランスなどを工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。 【思・判・表②】音色やその重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、楽器の音の重ね方や反復の仕方などを工夫し、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	【態①】音色や旋律などの特徴と曲想との関わりに興味・関心をもち、音色の違いを感じ取る学習に進んで取り組もうとしている。 【態②】音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて考えながら、音色や音の重なりを付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態③】音色や旋律などの特徴と曲想との関わりについて考えながら、歌詞の内容が表す場面にふさわしい歌い方を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態④】楽器の音の特徴や音色を生かした即興的な表現に進んで取り組もうとしている。
8. ちいきにつたわる音楽でつながろう ♪祇園囃子／ねぶた囃子 ♪神田囃子「投げ合い」 (チャレンジ)たいこにちょうせん！！ ☆ラドレの音でせんりつづくり	【知・技①】日本の楽器の音色や響きの特徴、リズムと曲想との関わり気付いている。 【知・技②】日本の楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 【知・技③】音のつなげ方の特徴に気付く、三つの音とリズムを使って、即興的に音を選んで表現する技能を身に付けてつくっている。	【思・判・表①】音色やリズム、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】旋律や拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方を工夫し、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	【態①】お囃子で使われる楽器の音色やリズムの特徴などと曲想との関わりに興味・関心をもち、郷土に伝わる音楽のよさや面白さ、美しさを感じ取って聴く活動に進んで取り組んでいる。 【態②】締太鼓や長胴太鼓の音色やリズムに興味・関心をもち、ばちの持ち方や打ち方を学んで演奏する学習に進んで取り組んでいる。 【態③】お囃子の旋律に興味・関心をもち、ラ、ド、レの三つの音を使って旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。
9. 音の重なりをかんじて合わせよう ○歌おう 声高く ♪かね ◇エーデルワイス ・君が代	【知・技①】曲想やその変化と、旋律の重なりや反復との関わりについて気付いている。 【知・技②】旋律の重なりや強弱、反復と曲想との関わりについて気付く、互いの歌声や副次的な旋律を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技③】楽器の音色や旋律、音の重なりと曲想との関わりについて気付く、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。	【思・判・表①】旋律の重なりや強弱、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】音色や旋律、音の重なりと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音を合わせる表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	【態①】旋律の重なりや反復と曲想との関わりについて興味・関心をもち、音程や発音の仕方などに気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態②】旋律の重なりや強弱、反復、変化と曲想との関わりについて考えながら、曲想の変化に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。

	【知・技④】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。		【態③】 楽器の音色の重なりなどと曲想との関わりに興味・関心をもち、友達と協働して、曲想に合った表現の工夫をしながら、互いの楽器の音を聴き合いながら合奏する学習に進んで取り組もうとしている。
(年間) みんなでたのしく ハッピー集会の全校合唱			